

第79期 (2024年3月期 中間期) 株主通信

KISSEI REPORT

2023.4.1-2023.9.30



大天井岳から望む槍ヶ岳

会社概要 (2023年9月30日現在)

社名 **キッセイ薬品工業株式会社**
英文社名 KISSEI PHARMACEUTICAL CO., LTD.
設立 1946年(昭和21年)8月9日
資本金 24,356,653,478円
主要な事業内容 医療用医薬品の研究・開発・製造・販売
従業員数 1,367名
本社所在地 長野県松本市芳野19番48号

《役員》

代表取締役会長	神澤陸雄	社外取締役	清水重孝
代表取締役社長	竹花泰雄	社外取締役	野村稔
取締役副社長	福島敬二	社外取締役	内川小百合
専務取締役	高山哲	社外取締役	大川良則
常務取締役	北原孝秀	常勤監査役	菊池伸次
取締役相談役	降旗喜男	監査役	伊佐治正幸
取締役	野明浩史	社外監査役	中川寛道
取締役	宮澤敬治	社外監査役	岩淵道男

関係会社 (連結子会社)

キッセイ商事株式会社
キッセイコムテック株式会社
ハシパテクノス株式会社

株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会 毎年6月
剰余金の配当の基準日 期末配当 毎年3月31日
中間配当 毎年9月30日
定時株主総会基準日 毎年3月31日
株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座 口座管理機関
同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
東京都府中市日鋼町1-1
電話 0120-232-711 (通話料無料)
同郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
公告方法 電子公告
電子公告掲載 URL <https://www.kissei.co.jp/>
ただし、電子公告によることができない事故その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載して行います。
上場取引所 東京証券取引所 プライム

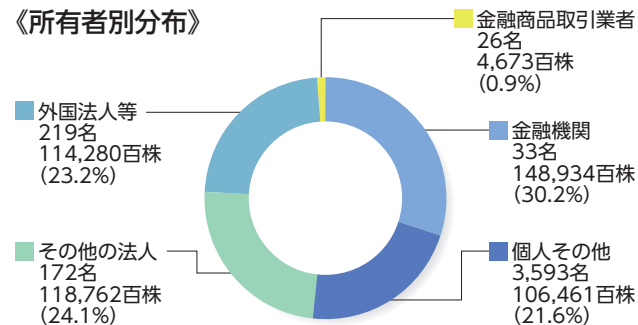
株式の状況 (2023年9月30日現在)

発行可能株式総数 227,000,000株
発行済株式の総数 49,311,185株
株主数 4,043名 (前期末比283名減)
大株主

株主名	持株数	持株比率
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	39,439株	8.6%
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	23,352	5.1
株式会社八十二銀行	23,004	5.0
第一生命保険株式会社	22,400	4.9
有限会社カンザワ	16,782	3.7
神澤陸雄	15,423	3.4
キッセイグループ従業員持株会	12,882	2.8
鍋林株式会社	12,223	2.7
株式会社長野銀行	11,260	2.5
塩野義製薬株式会社	9,140	2.0

(注) 1. 当社は自己株式3,510,249株を保有しておりますが、上記大株主には記載しておりません。
2. 持株比率は自己株式を控除して計算しております。

《所有者別分布》



ご注意

- 株主様の住所変更、配当金の振込のご指定、単元未満株式の買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に登録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。



見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。



証券コード 4547



独創的な新薬を研究開発し、
世界の人びとの健康に貢献します。

株主の皆様には、日頃より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

第79期第2四半期（2023年4月1日から2023年9月30日まで）の事業概況をご報告申し上げます。

代表取締役会長
最高経営責任者

神津陸雄

株主の皆様へ

当中間期における医薬品業界は、薬価制度改革をはじめとする医療費抑制策の一環として、昨年4月の薬価改定に続き、本年4月にも薬価の中間年改定が実施されるなど、引き続き厳しい経営環境のもとに推移しています。また、情報サービス業界において旺盛なICT需要が継続する一方、建設請負業界及び物品販売業界においては、設備投資意欲に持ち直しの動きが見られるものの、円安や物価高騰の影響により足元の景気は個人消費を中心に力強さに欠け、依然として厳しい競争環境下にありました。

このような状況下、医薬品事業の売上高は、昨年度より発売した新製品3品目の伸長に加え、過活動膀胱治療薬「ベオーバ®」などの売上が増加し、30,765百万円（前年同期比10.1%増）となりました。情報サービス事業の売上高は4,133百万円（前年同期比23.9%増）、建設請負事業の売上高は1,663百万円（前年同期比33.0%増）、物品販売事業の売上高は416百万円（前年同期比25.1%増）となりました。利益面については、増収に加え、売上原価率の改善、研究開発費を主とした販売費及び一般管理費の減少などにより、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益は、増益となりました。

当社は、2020年4月より中期5ヵ年経営計画「PEGASUS」をスタートさせています。新たな重点領域として希少疾病・難病領域を定め、2022年5月に潰瘍性大腸炎治療薬「カログラ®」を、同年6月に顕微鏡的多発血管炎・多発血管炎性肉芽腫症治療薬「タブネオス®」を、そして2023年4月に慢性特発性血小板減少性紫斑病治療薬「タバリス®」をそれぞれ新発売しました。さらに、共同開発先である丸石製薬株式会社より承認申請された、透析患者におけるそう痒症治療薬「コルスバ®静注透析用シリンジ」の製造販売承認を本年9月に取得し、発売の準備を進めています。また海外においては、当社創製品であるリンザゴリクスについて、子宮筋腫を適応症として2024年度中の欧州での発売に向け、技術導入先であるセラメックス社（英国）により市場導入準備が進められています。

中期経営計画「PEGASUS」では、主力製品の売上拡大、希少疾病・難病領域への新製品の上市、海外収益基盤の獲得の3つを成長戦略の柱としています。これからも、創薬研究開発型企業として持続的成長を果たし、持続可能な社会の実現に向けて貢献するべく、社会的責任を果たしてまいります。

株主の皆様におかれましては、変わらぬご支援・ご協力を賜りたく、お願い申し上げます。

業績ハイライト（連結）

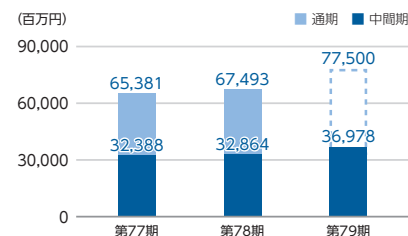
キッセイ IR



◆ 売上高

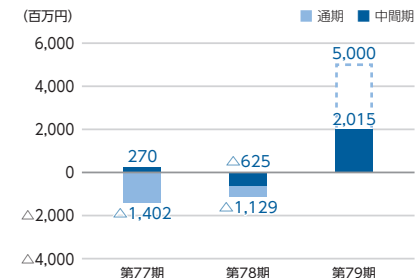
36,978百万円

（前年同期比 12.5%増）



◆ 営業利益

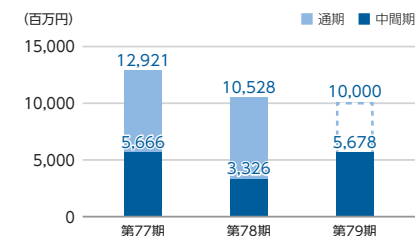
2,015百万円



◆ 親会社株主に帰属する四半期（当期）純利益

5,678百万円

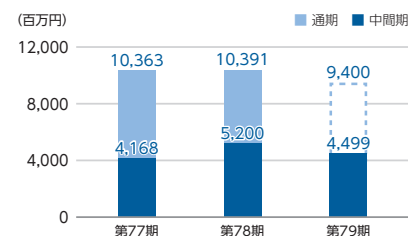
（前年同期比 70.7%増）



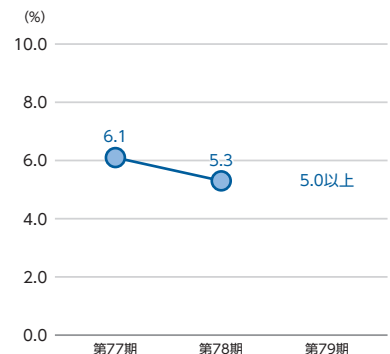
◆ 研究開発費

4,499百万円

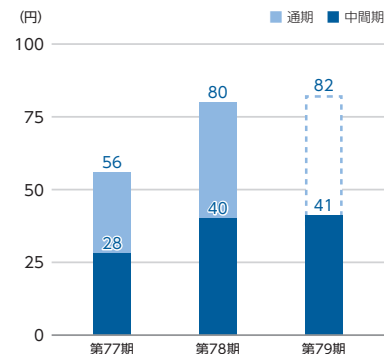
（前年同期比 13.5%減）



◆ ROE



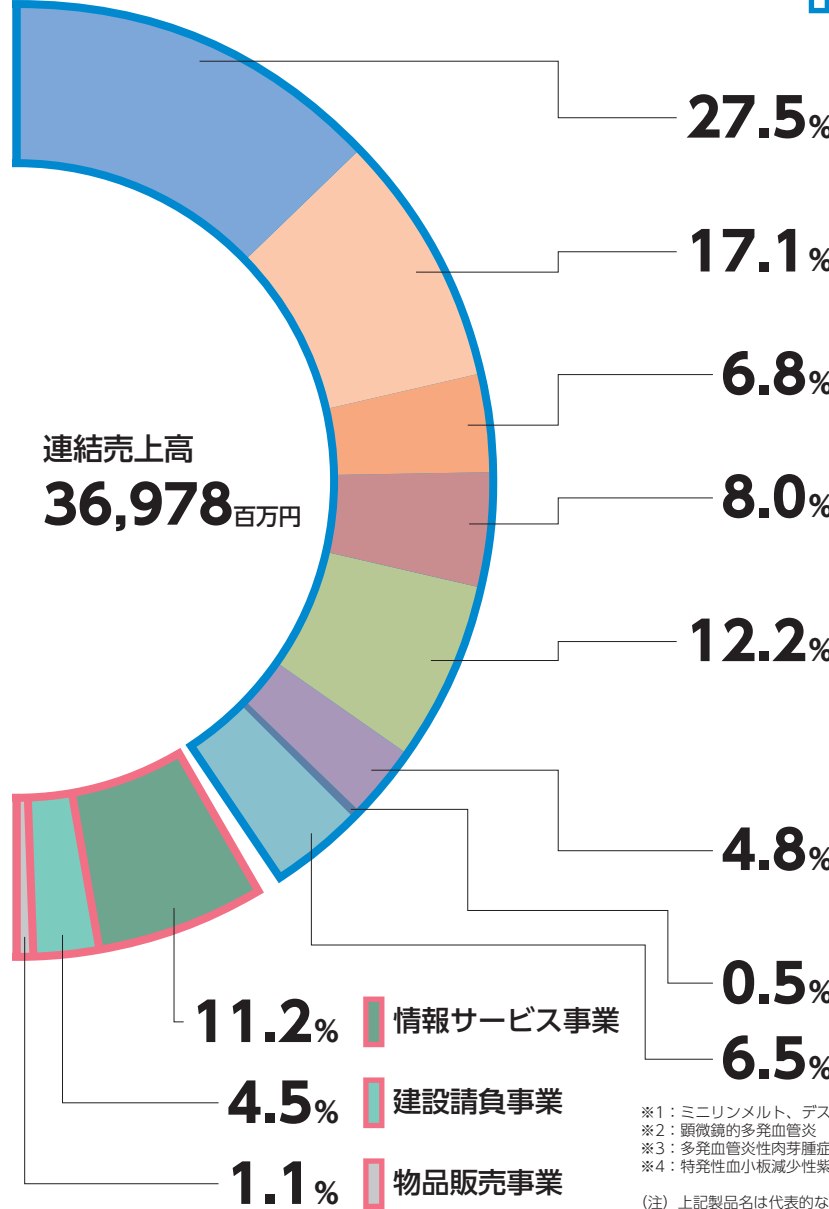
◆ 配当金



（金額単位：百万円）

項目	決算期	第77期（2022年3月期）		第78期（2023年3月期）		第79期（2024年3月期）	
		通期	中間期	通期	中間期	通期（予想）	中間期
売上高		65,381	32,388	67,493	32,864	77,500	36,978
営業利益		△1,402	270	△1,129	△625	5,000	2,015
親会社株主に帰属する四半期（当期）純利益		12,921	5,666	10,528	3,326	10,000	5,678
研究開発費		10,363	4,168	10,391	5,200	9,400	4,499
ROE		6.1%	—	5.3%	—	5.0%以上	—
配当金		56円	28円	80円	40円	82円	41円

セグメント別の概況



※1：ミニリンメルト、デスマプレシン点鼻液、デスマプレシン点鼻スプレー、デスマプレシン静注
 ※2：顕微鏡的多発血管炎
 ※3：多発血管炎性肉芽腫症
 ※4：特発性血小板減少性紫斑病
 (注) 上記製品名は代表的なものを記載しております。

研究開発の状況



新薬開発状況 (自社)

(2023年11月現在)

製品名 /一般名 開発番号	予定適応症	開発ステージ			承認申請中	承認取得	開発区分等
		I	II	III			
コルスバ /ジフェリケファリン /MR13A9	透析患者におけるそう痒症*	■	■	■	■	■	導入品/丸石製薬 共同開発
CG0070	筋層非浸潤性膀胱がん	■	■	■			導入品/CGオンコロジー 国際共同第Ⅲ相臨床試験
リンザゴリクス /KLH-2109	子宮筋腫 子宮内膜症	■	■	■			創製品
KDT-3594	パーキンソン病	■	■				創製品
KSP-0243	潰瘍性大腸炎	■	■				創製品

■ 2023年5月からの変更点
 コルスバ (透析患者におけるそう痒症*) 承認申請中 → 承認取得
 ロパチレリン (脊髄小脳変性症) 承認申請中 → 申請を取り下げ、追加臨床試験の実施可能性を検討中 (表から削除)
 ※ 効能又は効果: 血液透析患者におけるそう痒症の改善 (既存治療で効果不十分な場合に限る)

新薬開発状況 (導出)

(2023年11月現在)

一般名 /開発番号	予定適応症	実施国・地域	臨床試験 準備中	開発ステージ			申請 準備中	承認 申請中	承認取得	提携企業
				I	II	III				
リンザゴリクス /KLH-2109	子宮筋腫	欧州	■	■	■					セラメックス
		中国	■	■	■					バイオジェニユイン
リンザゴリクス /KLH-2109	子宮内膜症	台湾	■	■	■					シンモサ
		欧州	■	■	■					セラメックス
リンザゴリクス /KLH-2109	子宮内膜症	中国	■	■	■					バイオジェニユイン
		中国	■	■	■					バイオジェニユイン
シロドシン	前立腺肥大症 に伴う排尿障害	ベトナム、他	■	■	■					エーザイ
ホスタマチニブ /R788	慢性特発性血小板 減少性紫斑症	韓国	■	■	■					JW
KDT-3594	パーキンソン病	中国、他	■	■	■					インマジン
KDT-3594	パーキンソン病	中国、他	■	■	■					アフアメド

■ 2023年5月からの変更点
 リンザゴリクス (子宮内膜症: 中国) 第I相 → 第III相



タバリスの新発売



製品名	タバリス®錠100mg/150mg
効能・効果	慢性特発性血小板減少性紫斑病
製造販売承認取得日	2022年12月23日
発売日	2023年4月6日

コルスバの製造販売承認取得



製品名	コルスバ®静注透析用シリンジ 17.5 μ g/25.0 μ g/35.0 μ g
効能・効果	血液透析患者におけるそう痒症の改善 (既存治療で効果不十分な場合に限り)
製造販売承認取得日	2023年9月25日

難病治療の課題解決へ

中期経営計画「PEGASUS」（2020年4月～2025年3月）では、新たな疾患領域として、希少疾病・難病領域を中心に開発パイプラインを拡充してきており、これまでに指定難病である自己免疫疾患を対象に、未だ十分な治療に恵まれない患者さんへの新たな治療選択肢として、以下の3製品を発売しました。

カログラ®

(2022年5月発売)

タブネオス®

(2022年6月発売)

タバリス®

(2023年4月発売)

共通
コンセプト

- 指定難病の自己免疫疾患
- 既存薬と異なる作用機序
- 既存治療で効果、疾患コントロール不十分な症例等への新たな治療選択肢を提供

難病、希少疾病に苦しむより多くの患者さんへ、より早く新たな価値を提供する



サステナビリティに関する取り組み

サステナビリティ基本方針 (2023年8月1日制定)

キッセイ薬品は、「純良医薬品を通じて社会に貢献する」「会社構成員を通じて社会に奉仕する」の経営理念のもとに、事業活動を通じて、世界の人々の健康に貢献すると共に地球環境や社会課題の解決を目指し、企業価値向上と持続可能な社会の同時実現に取り組みます。

- イノベーションの創出を通じて、革新的な製品（医薬品、食品）を開発・提供することにより、世界の人々の健康と医療の向上に貢献します。
- 環境問題は人類共通の課題であることを認識し、気候変動対策をはじめ、自主的、積極的な地球環境保全活動に取り組みます。
- 事業活動に関わる全ての人々の人権を尊重するとともに、従業員の多様性、人格、個性を尊重した働きがいのある職場づくりに取り組みます。
- コーポレート・ガバナンスを強化・充実し、倫理性、透明性、公平性の高い企業活動により、ステークホルダーとの良好な関係を保ち、持続的な企業価値の向上に取り組みます。

キッセイの環境美化活動「穴田川をきれいにする会」

松本市にあるキッセイ薬品の本社近くを流れる約5キロの小河川の穴田川は、昭和40年代に宅地化等の影響で急激に汚染が進みました。そこで昭和47（1972）年に当社が先頭に立ち、地域住民、企業、自治体が総ぐるみで浄化活動を行う「穴田川をきれいにする会」を発足し、今年で51年目を迎えました。発足以来、穴田川を利用する企業や地域住民の協力による定期的な清掃活動や、自治体による下水道整備の推進などの環境美化活動により、現在では松本市内でも有数のきれいな川となっています。

環境問題はもはや地域だけではなく地球全体の課題です。

キッセイ薬品はこれからも、地域の皆様方と協働して毎年の穴田川の河川清掃を継続するとともに、地球環境課題をはじめとした様々なサステナビリティ課題の解決を目指し、持続可能な社会の実現に取り組んでいきます。

